

立山町文化財年報

—令和 5 年度—

2024 年 7 月

立山町教育委員会

1 組織

教育長 杉田孝志
教育課長 堀富実男
教育課課長補佐・文化体育係長 村上公堂
主任（県教委派遣） 和田匡史
主事（学芸員） 増田 豊
歴史交流ステーション 学芸員（会計年度任用）森井祐子
歴史交流ステーション 学芸員（会計年度任用）古川知明
歴史交流ステーション 学芸員（会計年度任用・産休代理）安達志津
歴史交流ステーション 学芸員（会計年度任用・産休代理）野垣保香
歴史交流ステーション 文化財整理員（会計年度任用）西井照美

2 立山町文化財調査審議会

（1）委員構成

役職	氏名	分野	所属・経歴
委員長	佐伯 勉	有形（歴史資料）、民俗（有形）	神職
副委員長	米原 寛	有形（古文書・歴史資料）	元富山県〔立山博物館〕館長
委員	上野幸夫	有形（建造物・美術工芸）、無形（工芸技術）	富山職藝学院教授
委員	岡田知己	有形（古文書・歴史資料）	富山県〔立山博物館〕館長
委員	佐藤武彦	記念物（史跡・名勝・天然記念物）	ナチュラリストガイド
委員	藤井喜代美	有形（歴史資料）	無職
委員	古川知明	有形（考古資料）、記念物（史跡・名勝）	元富山市教育委員会埋蔵文化財センター所長、
委員	鈴木景二	有形（古文書・歴史資料）、記念物（史跡）	富山大学人文学部教授
委員	佐伯睦磨	記念物（名勝）、民俗（無形）	雄山神社宮司
委員	太田道人	記念物（名勝・天然記念物）	富山市科学博物館館長

（2）委員会開催

- 第1回 令和5年8月17日（木）三鍋前委員長退任報告、委員委嘱、歴史交流ステーションなた案内看板設置報告、資料寄贈報告、天然記念物・埋蔵文化財調査報告、新文化財マップ状況報告、歴史交流ステーションなた令和5年度ミニ企画展Part1成果報告、町史跡池田城及び周辺遺跡の追加情報報告等（出席委員7人）
- 第2回 令和6年3月26日（火）委員長選出、歴史交流ステーションなた令和5年度ミニ企画展Part2「越中瀬戸焼研究者一長島勝正一」展見学、文化財看板の修繕・撤去報告、資料寄贈報告、天然記念物・埋蔵文化財調査報告、文化財防火データ報告、令和6年度文化財保護事業予定の説明等（出席委員9人）

(3) 町指定文化財

番号	名 称	種 別	所 在 地	指定年月日	管 理 者
1	若 宮 社 殿	建 造 物	芦嶋寺2	昭39. 6. 11	芦嶋雄山神社
2	旧 有 馬 家 及 び 田 屋 門	建 造 物	芦嶋寺	昭60. 9. 26	富山県立山町に委託
3	壬 寅 年 作 山 水 図	絵 画	利田1381	平7. 10. 26	宝 栄 寺
4	明 治 丙 申 年 作 神 仙 界 図	絵 画	利田1381	平7. 10. 26	宝 栄 寺
5	石 造 狸 犬 (1 对)	彫 刻	岩嶋寺1	平16. 2. 10	岩嶋雄山神社
6	浦 田 山 王 社 鰐 口	工 芸 品	浦田1068	昭42. 12. 16	区 長
7	芦 嶋 雄 山 神 社 · 神 墓 (2 基)	工 芸 品	芦嶋寺2	昭49. 12. 26	芦嶋雄山神社
8	芦 嶋 雄 山 神 社 · 石 灯 篓 (2 基)	工 芸 品	芦嶋寺2	昭49. 12. 26	芦嶋雄山神社
9	布 橋 摠 宝 珠 (6 点)	工 芸 品	芦嶋寺46	昭50. 11. 28	一 山 会
10	五 百 石 天 满 社 立 山 御 う ば 尊 御 宝 前 鏡	工 芸 品	五百石天満社	昭59. 3. 29	五百石天満社総代
11	岩 嶋 寺 湯 立 の 釜	工 芸 品	岩嶋寺1	平10. 4. 24	岩嶋雄山神社
12	日 中 経 塚 出 土 経 筒	工 芸 品	芦嶋寺93-1 (立山博物館)	平28. 1. 25	富 山 県
13	松 倉 経 塚 出 土 経 函	工 芸 品	谷口43 (立山町郷土資料館)	平28. 1. 25	立 山 町
14	越 中 濑 戸 烧 古 文 書 附 青 原 儀 右 衛 門 宛 上 段 村 長 及 び 東 京 帝 国 大 学 総 長 借 用 札 状 (9 点, 2 点)	古 文 書	谷口43 (立山町郷土資料館)	昭57. 11. 27 平28. 1. 25	立 山 町
15	宮 路 金 山 家 文 書 (11, 216 点)	古 文 書	谷口43 (立山町郷土資料館)	平17. 4. 25	立 山 町
16	立 山 権 現 峰 本 社 棟 札 (10 点)	歴 史 资 料	岩嶋寺74	平7. 10. 26	個 人
17	谷 口 家 蔵 谷 口 講 山 由 緒 資 料 (絵画7点 書状7点 写真1点)	歴 史 资 料	上鉢木109	平7. 10. 26	個 人
18	芦 嶋 寺 庚 申 塚 の 石 仏 群 (石 仏 17 身 石 塔 2 基 石 碑 1 基)	有 形 民 俗 文 化 財	芦嶋寺51	平3. 11. 26	区 長
19	米 道 踊	民 俗 芸 能	米道集落	昭39. 6. 11	米道踊保存会
20	御 前 節 (踊り)	民 俗 芸 能	芦嶋寺集落	昭39. 6. 11	区 長
21	芦 嶋 雄 山 神 社 · 神 興 練 り	民 俗 芸 能	芦嶋寺集落	昭39. 6. 11	一 山 会
22	浦 田 山 王 社 獅 子 舞 い	民 俗 芸 能	浦田集落	昭39. 6. 11	区 長
23	目 桑 ち り め ん 節	民 俗 芸 能	目桑集落	昭46. 10. 16	目桑ちりめん節振興会
24	宮 路 集 落 獅 子 舞 い	民 俗 芸 能	宮路集落	昭50. 6. 30	区 長
25	正 調 利 田 荷 方 節	民 俗 芸 能	利田	昭57. 11. 27	正調利田荷方節保存会
26	雄 山 神 社 前 立 社 塾 の 稚 児 舞	民 俗 芸 能	岩嶋寺1	昭57. 11. 27	岩嶋寺稚兒舞保存会
27	千 垣 五 輪 塔	史 跡	千垣高地123	昭39. 6. 11	区 長

番号	名 称	種 別	所 在 地	指定年月日	管 理 者
28	芦嶋仲宮寺遺跡	史 跡	芦嶋寺堂後割57	昭39. 6. 11	区 長
29	松倉経塚遺跡	史 跡	松倉経塚1	昭39. 6. 11	個 人
30	日中経塚遺跡	史 跡	日中松原33	昭39. 6. 11	区 長
31	二ツ塚原始住居遺跡	史 跡	二ツ塚西中の島183	昭39. 6. 11	区 長
32	古屋敷縄文遺跡	史 跡	芦嶋寺古屋敷割100	昭39. 6. 11	区 長
33	天林A地区縄文遺跡	史 跡	天林新宮社28	昭39. 6. 11	区 長
34	天林B地区縄文遺跡	史 跡	天林250	昭39. 6. 11	区 長
35	藤 塚	史 跡	日中魚梁場28	昭39. 6. 11	区 長
36	陶 片 塚 ほ か	史 跡	下瀬戸(陶)山林2-1外	昭47. 10. 16	立山町外
37	大やぶ塚(一字一石経塚)	史 跡	浦田字高木11	昭50. 6. 30	個 人
38	日 中 城 跡	史 跡	日中墓の段	昭50. 6. 30	区 長
39	上末古窯跡群	史 跡	上末釜谷及び法光寺谷	平7. 10. 26	区 長
40	池 田 城 跡	史 跡	池田字大谷37外	平7. 10. 26	区 長
41	芦嶋雄山神社仲宮社叢	天然記念物	芦嶋寺池の尻2	昭39. 6. 11	芦嶋雄山神社
42	水バショウ	天然記念物	長倉小池3	昭42. 12. 16	区 長
43	下田の大杉	天然記念物	下田1	昭51. 12. 1	区 長
44	伊勢屋の大杉	天然記念物	伊勢屋24	昭51. 12. 1	区 長
45	柄津新宮社社叢	天然記念物	柄津1	昭57. 11. 27	区 長
46	立泉神社の大杉	天然記念物	立泉寺1786	昭62. 11. 30	区 長
47	雄山神社前立社壇境内林	天然記念物	岩崎寺1	昭62. 11. 30	岩崎雄山神社
48	立山まりも生息地	天然記念物	野口108	平9. 4. 24	個 人
49	西大森の大石	天然記念物	西大森地内	平19. 4. 24	国土交通省
50	千垣白山社のイチョウ	天然記念物	千垣字高地366 白山社境内	平29. 3. 10	区 長

◎ 立山町の獅子舞一覧

- ・五百石下町の獅子
- ・五百石上町の獅子
- ・金剛新の獅子
- ・上金剛寺の獅子
- ・東大森の獅子
- ・八ツ屋の獅子
- ・三ツ塚の獅子
- ・白岩の獅子
- ・沢中山の獅子
- ・宮路の獅子
- ・横江の獅子
- ・泉の獅子
- ・浦田の獅子
- ・若宮の獅子

3 事業

(1) 埋蔵文化財

① 試掘調査・工事立会

- ・天林北遺跡 A 地点 (令和 5 年 5 月 30 日) 遺跡有、慎重工事指導
- ・岩崎寺遺跡 (令和 5 年 6 月 16 日) 遺跡無
- ・東中野新 II 遺跡 (令和 5 年 11 月 1 日～11 月 28 日) 遺跡有、慎重工事指導
- ・浦田遺跡 (令和 6 年 1 月 11 日) 遺跡無

② 発掘調査

なし

③ 埋蔵文化財包蔵地の新規追加及び変更

なし

④ 出土品の譲与

なし

⑤ 出土品整理等

古屋敷 I 遺跡出土遺物整理

(2) 文化財保護

① 文化財保護活動

・文化財防火デー

令和 6 年 1 月 21 日 雄山神社前立社壇境内 避難訓練・消火訓練

② 天然記念物 減失

・二ホンカモシカ 6 頭 (電車との衝突 1、その他 5)

(3) 活用

① 資料の提供状況

番号	種別	申請者	資料名	点数	目的	期間等
1	掲載	川端典子	金剛新遺跡出土翡翠 製大珠 1 点写真・ニッ 塚遺跡出土翡翠製大 珠 1 点写真	2	シンポジウム「縄文の装身 具を考える」(令和 6,1,27) 要旨への掲載	R 5. 11. 29
2	撮影	廣田雄介	越中瀬戸焼陶錘	15	調査・研究	R 5. 12. 23

(4) 資料収集

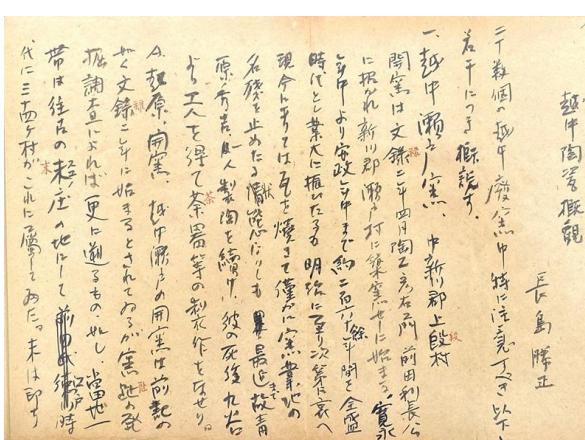
① 資料寄贈 (継続中・手続中を含む)

番号	種別	申込者等	資料名／採集地	点数	概要	受入日等
1	絵画	立山町	立山曼荼羅	1	町民会館で展示さ れていたもの	R 5. 4. 20
2	写真	立山町	航空写真	一式	役場で保管されて いたもの	R 5. 5. 1
3	絵画	個人 (魚津市)	谷口藪山作品	2	軸物	R 5. 6. 13
4	民具等	個人 (富山市)	古文書裏張り 襖、生活用品民 具等	一式	水橋蓮勝寺に関す る資料等	R 5. 7. 20
5	民具・考 古資料	個人 (立山町)	天秤はかり竿、 分銅	14	立山町で使用され ていた民具等	R 5. 7. 27

6	歴史資料	個人（立山町）	長島勝正氏自筆原稿	一式	越中瀬戸焼等に関する昭和17年頃自筆原稿	R5.10.5
7	民具	個人（富山市）	ミノ・提灯	2	立山町で使用されていた民具	R5.10.25
8	考古資料	個人（飛騨市）	窯跡出土資料	一式	飛騨市神岡町山之村窯跡出土陶器・窯道具	R5.10.25
9	考古資料	個人（富山市）	窯跡出土資料	一式	飛騨市神岡町山之村窯跡出土陶器・窯道具	R5.10.25

6 歴史資料

長島勝正氏自筆原稿



8 考古資料

飛騨市神岡町山之村窯跡出土陶片等



② 寄託等

- ・伝池田城出土懸仏 所有者に返却（令和5年7月11日 裁判資料として利用するため）

(5) 刊行物 (Online journal 含む)

- ・『立山町文化財年報－令和4年度－』令和5年7月 (Online ISSN 2758-2043)

4 施設

(1) 歴史交流ステーション日なた

① 施設概要

所在地 立山町日中上野83番地

開所年月日 令和3年4月1日

敷地面積 1,892 m²

規模 鉄筋コンクリート平屋建 建築面積 429.065 m²、延床面積 346.742 m²

経緯 旧日中上野保育所を改築（改築期間：令和2年6月3日～令和3年2月26日）

概要 発掘品の展示、民具の展示、古代体験

【常設展示内訳】令和6年3月現在

- ・第1室 繩文時代～古墳時代 遺物 282点、パネル 11枚
- ・第2室 飛鳥時代～江戸時代 遺物 355点、パネル 11枚 合計 659点
- ・民具展示 昭和期農具・生活用具 58点
- ・映像 (DVD) 立山かんじき等 35種類
- ・開架図書 歴史・民俗 (子供向け) 105冊

② 事業

A ミニ企画展

(1)ミニ企画展1 「飛騨の越中瀬戸伝承—神岡・山之村窯—」展

○概要 岐阜県飛騨市神岡町瀬戸にある山之村窯は、明治初期頃操業された瀬戸系登窯である。

この窯の所蔵者旧家には、越中瀬戸焼とのつながりがあるとの伝承が残されていた。展示では、現地の遺跡状況の紹介と、旧家に残されていた陶器類、現地で採集した陶器・窯道具を展示し、越中瀬戸焼との関連性について検証した。

○会期 令和5年6月3日～令和5年7月31日

○入館者数 157人

○展示解説会 12回 39人参加

○関連イベント「座談会」 令和5年7月6日

○広報

- ・広報「立山」834号（6月号）
- ・北日本新聞 令和5年7月7日「立山町歴史交流ステーション 企画展や座談会 窯元の関係性探る 越中瀬戸焼—山之村窯（飛騨神岡）」



(2)ミニ企画展2 「越中瀬戸焼研究者—長島勝正—」展

○概要 長島勝正氏は、越中瀬戸焼復興期にあって、昭和15年東京帝室博物館による発掘調査に参加した。長島は越中瀬戸窯で作陶するとともに、戦後越中瀬戸焼をテーマとした展示に関わり、越中瀬戸復興を大きく手助けした。

○会期 令和5年12月9日～令和6年3月31日（全期間は4月21日まで）

○入館者数 178人（3月31日まで）

○展示解説会 9回 22人参加（3月31日まで）

○広報

- ・広報「立山」840号（12月号）
- ・北日本新聞 令和6年1月9日「立山 長島勝正氏（美術史家・入善出身）の功績紹介 越中瀬戸焼の歴史整理」
- ・富山シティエフエム
1月22日～1月26日モーニングシティ告知



B コーナー展

●「佐藤武彦氏コレクション」展

立山ガイド・立山町文化財保護審議委員会委員の佐藤武彦氏が、立山ライチョウ・カモシカ調査や山岳案内等で使用した調査用具・図書など各種資料の寄贈品から、一部をコーナー展示。

●「文山純子写真展」

アマチュア写真家文山純子氏が撮影した立山連峰・ライチョウ等の写真6点を展示。このほか、富山県内を中心としたパンフレット多数。

●「わたしの作った縄文土器」展

試験的に作った縄文土器10点を展示



「文山純子写真展」コーナー

「佐藤武彦氏コレクション」コーナー

C 体験

・常設体験内容

勾玉作り（有料、200円）、火起こし、弓矢、縄文服着用、縄文クイズ、縄文土器パズル、

縄文土器文様付け体験（以上無料）

・勾玉作り実績

27人

・夏休み企画「縄文ものづくり体験～粘土で土偶や土版を作ろう～」（令和5年8月5日・20日）

参加人数 大人12名 子供15名

D 刊行物（Online journal 含む）

・日なた歴史通信（Online ISSN2437-007X）

第6号 令和5年6月

第7号 令和5年10月

第8号 令和5年12月

E 調査研究

・令和6年3月15日 富山市郷土博物館蔵越中瀬戸焼資料調査

令和6年度ミニ企画展の事前調査

③ 利用実績

A 入館者数

月別	入館者数計	大人	子供	男	女	町内	町外	開館日	休館日
4月	38	35	3	22	16	13	25	29	1
5月	68	60	8	31	37	23	45	28	3
6月	64	57	7	40	24	21	43	30	0
7月	93	53	40	50	43	48	45	30	1
8月	58	40	18	31	27	36	22	30	1
9月	48	42	6	28	20	17	31	28	2
10月	26	23	3	13	13	9	17	30	1
11月	39	36	3	24	15	9	30	28	2
12月	31	30	1	23	8	12	20	28	3
1月	45	33	12	22	23	15	30	26	5
2月	50	50	0	27	23	15	35	26	3
3月	52	48	4	29	22	25	27	30	1
累計	612	507	105	340	271	243	370	343	23

B 団体利用

月日	団体名	内容	人数	備考
7月4日	立山町適応指導教室	解説・体験	10	
7月27日	立山町立北部小学校	解説・体験	29	6年生
9月14日	富山市文化財探訪会	解説	25	富山市社会福祉協議会
11月5日	長者ヶ原友の会	解説	15	糸魚川市
1月31日	釜ヶ淵小学校	解説・体験	10	3年生
2月25日	富山市視覚障害者協会	解説・体験	20	ユニバーサル対応

C 図書等販売

図録 2冊

立山道石造物マップ 71部

(2) 谷口収蔵庫

①施設概要

旧埋蔵文化財センター（谷口43番地）の2階・3階を文化財収蔵庫として活用。

区分	収蔵可能面積	収蔵品の概要	室数
2階	350.6 m ²	埋蔵文化財・発掘調査報告書・町史等図書	11
3階	282.8 m ²	民具・歴史文書・町史編纂資料等	7
計	633.4 m ²		16

②令和5年度新規収蔵品

区分	資料名	数量	内容
絵画	谷口藪山	2	軸（魚津市個人寄贈）
歴史資料	佐藤武彦氏立山関係資料	一式	立山ガイド・立山町文化財保護審議委員会委員のライチョウ・カモシカ調査用具及び立山信仰資料等（個人寄贈）
歴史資料	長島勝正原稿	1	越中瀬戸焼に関する原稿（立山町個人寄贈）
文献等	富山県内パンフレット等	一式	立山関係観光パンフレットなど新旧のパンフレット・地図類（個人寄贈／受入れ継続中）
民具	天秤ばかり・分銅	14	（立山町個人寄贈）
考古資料	飛騨市神岡町山之村窯出土資料	一式	陶器・窯道具（飛騨市神岡町・富山市個人寄贈）

③受贈図書（令和4年4月～令和5年3月）

	書籍名	発行者	発行年	都道府県
1	富山県文化財・文化施設等一覧	富山県教育委員会	2024	富山
2	埋文とやま VOL. 163	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
3	埋文とやま VOL. 164	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
4	埋文とやま VOL. 165	富山県埋蔵文化財センター	2024	富山
5	令和5年度特別展 黄泉つ国から一富山の古墳時代 一	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
6	富山県埋蔵文化財センター年報一令和4年度一	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
7	とやまの古代集落遺跡出土品	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
8	県営農地整備事業水橋下条北部地区 国営農地整備事業下条工区埋蔵文化財試掘調査報告	富山県埋蔵文化財センター	2023	富山
9	県営農地整備事業浜黒崎地区埋蔵文化財試掘調査報告 浜黒崎町畠遺跡 浜黒崎飯田遺跡 浜黒崎野田II遺跡 浜黒崎野田・平榎遺跡 浜黒崎悪地遺跡	富山県埋蔵文化財センター	2022	富山
10	富山県公文書館だより 第73号	富山県公文書館	2023	富山
11	富山県公文書館だより 第74号	富山県公文書館	2024	富山
12	日本の近代教育のあゆみと富山	富山県公文書館	2023	富山
13	富山県公文書館文書目録 歴史文書37	富山県公文書館	2024	富山

14	富山県公文書館年報 第36号	富山県公文書館	2024	富山
15	国立公文書館蔵資料展 日本の近代教育のあゆみと富山	富山県公文書館	2023	富山
16	博物館だより 80	富山県立山カルデラ砂防博物館	2023	富山
17	博物館だより 81	富山県立山カルデラ砂防博物館	2023	富山
18	立山自然保護センター事業報告書 第23号	富山県立山センター	2023	富山
19	立山自然保護センター事業報告書 第24号	富山県立山センター	2024	富山
20	まるごとTADこども美術館 START☆2023	富山県美術館	2024	富山
21	ライブラリィとやま 103	富山県立図書館	2023	富山
22	ライブラリィとやま 104	富山県立図書館	2023	富山
23	ライブラリィとやま 105	富山県立図書館	2024	富山
24	高志の国文学館紀要 第8号	高志の国文学館	2023	富山
25	とやまミュージアム・アニュアル 富山県博物館協会会報 第45号	富山県博物館協会	2023	富山
26	浜黒崎町畠遺跡 浜黒崎悪地遺跡	(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課	2024	富山
27	水橋荒町・辻ヶ堂遺跡発掘調査報告書—主要地方道富山魚津線道路橋りょう改築事業に伴う埋蔵文化財発掘報告—	(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課	2024	富山
28	下邑遺跡 小長沢Ⅱ遺跡 小長沢鎌蓋遺跡 発掘調査報告—県営農地整備事業小長沢地区に伴う埋蔵文化財発掘報告—	(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課	2024	富山
29	令和4年度埋蔵文化財年報	(公財)富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課	2023	富山
30	富山市任海宮田遺跡発掘調査報告書—市道任海13号線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—	富山市教育委員会	2024	富山
31	富山市内遺跡発掘調査概要23—北代遺跡 吳羽富田町遺跡—	富山市教育委員会	2023	富山
32	富山市四方背戸割遺跡・四方荒屋遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	2023	富山
33	富山市水橋金弘・中馬場遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	2023	富山
34	富山市今市遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	2024	富山
35	富山市米田大覚遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	2024	富山
36	令和4年度富山市郷土博物館報	富山市郷土博物館	2024	富山
37	特別展 蟾川新右衛門さん 展示図録	富山市郷土博物館	2023	富山
38	富山市考古資料館紀要 第43号	富山市考古資料館	2024	富山
39	富山市考古資料館紀要第42号	富山市考古資料館	2023	富山
40	富山市考古資料館紀要第43号	富山市考古資料館	2024	富山
41	とやまと自然 第46巻冬の号	富山市科学博物館	2024	富山
42	立山町芦嶺寺・立山信仰の石造物 常願寺川石工中川甚右衛門編—鑑賞のてびきー	富山石文化研究所	2023	富山
43	富山県高岡市市内遺跡調査概報32	高岡市教育委員会	2023	富山

44	博物館だより 第30号	高岡市立博物館	2024	富山
45	特別展 浮世絵に描かれた加越能	高岡市立博物館	2023	富山
46	令和3年度高岡市福岡歴史民俗資料館年報	高岡市福岡歴史民俗資料館	2023	富山
47	令和4年度高岡市福岡歴史民俗資料館年報	高岡市福岡歴史民俗資料館	2023	富山
48	高岡市万葉歴史館紀要 第33号	高岡市万葉歴史館	2023	富山
49	地域ぐるみ教育 立山・舟橋のこころ エピソード集	立山区域地域ぐるみ教育研究会	2024	富山
50	滑川市立博物館だより vol.49	滑川市立博物館	2023	富山
51	北國街道をゆく～絵図に見る江戸時代の新川の町・村の姿～	滑川市立博物館	2023	富山
52	滑川の薬売り～売薬にまつわるあれこれ大集合～	滑川市立博物館	2023	富山
53	滑川の社寺宝物展 称永寺	滑川市立博物館	2024	富山
54	砺波市美術館年報 令和2年度～令和3年度	砺波市美術館	2023	富山
55	砺波地域の衣の歴史	砺波市立砺波郷土資料館	2023	富山
56	砺波に生まれた器 三助焼の誕生と歴史	砺波市立砺波郷土資料館	2023	富山
57	射水市内遺跡発掘調査報告15	射水市教育委員会	2023	富山
58	南砺市松木遺跡	南砺市教育委員会	2024	富山
59	特別展 うらぐわし布勢水海—十二町潟の考古と民俗—	氷見市立博物館	2023	富山
60	氷見市立博物館年報—第41号—	氷見市立博物館	2023	富山
61	特別展 氷見の菓子 展示図録	氷見市立博物館	2024	富山
62	いわさか 第72号	雄山神社前立社壇	2024	富山
63	大山の歴史と民俗 27	大山歴史民俗研究会	2024	富山
64	加茂遺跡V	石川県教育委員会	2023	石川
65	弓波コマダラヒモン遺跡	石川県教育委員会	2023	石川
66	梶井衛生センター遺跡	石川県教育委員会	2023	石川
67	金沢城下町遺跡(小将町1番地点)	石川県教育委員会	2023	石川
68	七尾城跡III	石川県教育委員会	2023	石川
69	梅田B遺跡V	石川県教育委員会	2023	石川
70	小梨遺跡	石川県教育委員会	2023	石川
71	れきはく No.142	石川県立歴史博物館	2023	石川
72	れきはく No.143	石川県立歴史博物館	2023	石川
73	れきはく No.144	石川県立歴史博物館	2023	石川
74	れきはく No.145	石川県立歴史博物館	2023	石川
75	石川県埋蔵文化財情報 第47号	(公財)石川県埋蔵文化財センター	2023	石川
76	石川県埋蔵文化財情報 第48号	(公財)石川県埋蔵文化財センター	2023	石川
77	交易財団法人石川県埋蔵文化財センター年報24(令和3年度)	(公財)石川県埋蔵文化財センター	2022	石川
78	いしかわの遺跡 No.75	(公財)石川県埋蔵文化財センター	2024	石川
79	上林イシガネ遺跡末松遺跡	石川県野々市市教育委員会	2023	石川
80	末松遺跡	石川県野々市市教育委員会	2023	石川

81	三日市A遺跡 10	石川県野々市市教育委員会	2024	石川
82	白山への道～白山下山仏と禅定道～	白山市立博物館	2023	石川
83	下吉谷遺跡Ⅱ	白山市役所文化課	2024	石川
84	姉小路氏城館跡と飛騨の中世 展示品図録	飛騨市教育委員会	2023	岐阜
85	飛騨山城シンポジウム 姉小路氏城館跡の実像に迫る 発表要旨	飛騨市教育委員会	2023	岐阜
86	姉小路氏城館跡と飛騨の中世	飛騨市美術館	2023	岐阜
87	端浪市市内遺跡調査報告書一平成23～26年度一	端浪市教育委員会	2023	岐阜
88	史跡長者ヶ原遺跡 第3～13次 土器・土製品	糸魚川市教育委員会	2014	新潟
89	史跡長者ヶ原遺跡 第3～13次 石器・石製品	糸魚川市教育委員会	2016	新潟
90	史跡長者ヶ原遺跡 総括報告書	糸魚川市教育委員会	2022	新潟
91	福井城跡 26 福井駅前電車通り北地区B街区第一種市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘報告書	福井市教育委員会 福井駅前電車通り北地区B街区市街地再開発組合	2024	福井
92	吉田城址保存活用計画書	豊橋市教育委員会	2023	愛知
93	吉田城址保存活用計画書【概要版】	豊橋市教育委員会	2023	愛知
94	市内遺跡発掘調査 令和2年度	豊橋市教育委員会	2023	愛知
95	西側遺跡13、ほか	豊橋市教育委員会	2023	愛知
96	深田古窯	豊橋市教育委員会	2023	愛知
97	再発見！豊橋の遺跡	豊橋市教育委員会	2023	愛知
98	再発見！豊橋の遺跡—石巻の縄文遺跡・玉川変電所遺跡と採集資料—	豊橋市教育委員会	2023	愛知
99	史跡水子貝塚保存活用計画	富士見市教育委員会	2023	埼玉
100	飛天 令和5年度会報	(公財)日本文化財保護協会	2023	東京
101	日本文化財保護協会 紀要 第7号	(公財)日本文化財保護協会	2023	東京
102	調査年報36 令和5年度	(公財)北海道埋蔵文化財センター	2024	北海道
103	全史協会報2023	全国史跡整備市町村協議会事務局	2023	
104	江戸遺跡出土貿易陶磁器の年代的変遷(抜刷)	堀内秀樹	2023	
105	江戸時代の酒器(抜刷)	堀内秀樹	2022	
106	少子化とコロナ後を見据えた工芸人材の育成環境—専門校生へのアンケート調査等—	前田厚子	2023	
107	日本の民話1～20	研秀出版	1977	
108	世界の民話1～16	研秀出版	1977	

4 条例・規則

○立山町上東地区地域資源活用交流促進施設条例（歴史交流ステーション日なた関連）

令和3年3月18日

条例第4号

立山町上東地区地域資源活用交流促進施設条例を公布する。

立山町上東地区地域資源活用交流促進施設条例

（設置）

第1条 農産物、特産物及び文化財等の地域資源を利活用し、交流人口を創出することにより、地域の活性化を図る拠点として、立山町上東地区地域資源活用交流促進施設（以下「施設」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

（1）名称 立山町歴史交流ステーション日なた

（2）位置 立山町日中上野83番地

（休館日）

第3条 施設の休館日は、次のとおりとする。ただし、町長が特に必要があると認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（1）国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

（2）12月29日から翌年の1月3日まで

（開館時間）

第4条 施設の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、町長が特に必要があると認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（利用の承認）

第5条 施設を利用しようとする者（以下「利用者」という。）は、あらかじめ町長の承認を受けなければならない。

（利用の制限）

第6条 町長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、利用を承認しない。

（1）利用の目的又は内容が施設及び附帯設備を損傷するおそれのある者

（2）前号に掲げるもののほか、町長が不適当と認める者

（利用承認の取消し等）

第7条 町長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することができる。

（1）利用者が前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

（2）利用者が虚偽の申請その他不正の手段によって承認を受けたとき。

（3）施設が災害その他の事故により利用できなくなったとき。

（4）その他この条例又は、この条例に基づく規則に違反したとき。

（損害賠償）

第8条 町長は、利用者が故意又は重大な過失により施設又は附帯設備を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償させることができる。

（管理の代行等）

第9条 町長は、施設の設置目的を効果的に達成するため、指定管理者（立山町公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年立山町条例第1号）第7条第2項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に管理を行わせることができる。

2 前項の規定により指定管理者を指定した場合の当該指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 施設の管理運営に関する業務
 - (2) 施設及び附帯設備の維持管理に関する業務
 - (3) 前2号に附帯する業務
- 3 第1項の規定により指定管理者を指定した場合は、第5条から第8条までの規定中「町長」を「指定管理者」に読み替え適用するものとする。
- (委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、施設の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、令和3年4月1日から施行する。

○立山町埋蔵文化財センター条例

平成19年3月23日

条例第4号

改正 令和3年3月18日条例第14号

立山町埋蔵文化財センター条例を公布する。

立山町埋蔵文化財センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、立山町埋蔵文化財センターの設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 埋蔵文化財の保存及び活用を図り、もって町民の文化の向上に資するため、立山町埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第3条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 立山町埋蔵文化財センター

位置 立山町日中上野83番地及び立山町谷口43番地

(令3条例14・一部改正)

(事業)

第4条 センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
 - (2) 埋蔵文化財に関する講習会、学習会等を開催すること。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、第2条の目的を達成するために必要な事業
- (入館の制限)

第5条 立山町教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は施設等を損傷するおそれがある者
 - (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる物品又は動物等を携行する者
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、センターの管理上支障があると認められる者
- (損害賠償)

第6条 資料又は施設等を損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、町長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(令和3年条例第14号)

この条例は、令和3年4月1日から施行する。

○立山町埋蔵文化財センター条例施行規則

平成19年3月23日

教委規則第1号

改正 令和3年3月18日教委規則第2号

令和3年3月31日教委規則第8号

立山町埋蔵文化財センター条例施行規則を次のように定め、公布する。

立山町埋蔵文化財センター条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、立山町埋蔵文化財センター条例(平成19年立山町条例第4号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧時間)

第2条 立山町埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の観覧時間は、午前9時30分から午後5時までとし、入館は午後4時30分までとする。ただし、立山町教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

(休館日)

第3条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(令3教委規則2・一部改正)

(特別閲覧)

第4条 資料の特別閲覧を受けようとする者は、立山町埋蔵文化財センター資料特別閲覧申請書(様式第1号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 委員会は、資料の特別閲覧を許可したときは、立山町埋蔵文化財センター資料特別閲覧承認書(様式第2号)を交付するものとする。

(資料の寄託)

第5条 センターに資料を寄託しようとする者は、あらかじめ、委員会の承認を受けなければならぬ。

2 寄託された資料は、特別の契約がある場合のほか、町所有のものと同一の取扱いをする。

3 寄託された資料が災害等の不可抗力の事由により損傷し、又は滅失しても、委員会は、その賠償の責めを負わないものとする。

(細則)

第6条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(令和3年教委規則第2号)

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和3年教委規則第8号)

(施行期日)

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日前に、なされた行為は、特別な定めがある場合を除き、改正後の相当規定によりなされたものとみなす。

様式第1号(第4条関係)		様式第2号(第4条関係)	
立山町埋蔵文化財センター資料特別閲覧申請書		立山町埋蔵文化財センター資料特別閲覧承認書	
年　月　日		年　月　日	
立山町教育委員会		立山町教育委員会	
教育長	様	教育長	印
住所 _____	住所 _____	立山町教育委員会	印
氏名 _____	氏名 _____	立山町教育委員会	印
電話 _____	電話 _____	立山町教育委員会	印
次のとおり資料を特別閲覧したいので申請します。			
特別閲覧の希望日時	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで	特別閲覧の日時	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで
特別閲覧の目的	特別閲覧の目的	特別閲覧の方法	特別閲覧の方法
特別閲覧の方法	特別閲覧の方法	特別閲覧の資料名など	特別閲覧の資料名など
特別閲覧を希望する 資料名など	特別閲覧を希望する 資料名など	条件	立山町埋蔵文化財センター条例、同条例施行規則及び職員の指 示に従ってください。
備考	備考		

様式第1号(第4条関係)

(令3教委規則8・一部改正)

様式第2号(第4条関係)

○立山町郷土資料館条例

平成7年3月28日

条例第4号

改正 平成15年3月27日条例第15号

平成18年3月28日条例第18号

平成20年3月21日条例第17号

令和3年3月18日条例第12号

〔立山町郷土資料館設置条例〕を公布する。

立山町郷土資料館条例

(平18条例18・改称)

(趣旨)

第1条 この条例は、立山町郷土資料館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。
(設置)

第2条 町民の教育、学術及び文化に関する知識の普及及び教養の向上に資するため、立山町郷土
資料館を設置する。

(平18条例18・一部改正)

(名称及び位置)

第3条 資料館の名称は、次のとおりとする。
名称 立山町郷土資料館

位置 立山町日中上野83番地及び立山町谷口43番地

(平20条例17・令3条例12・一部改正)

(開館時間)

第3条の2 立山町郷土資料館(以下「資料館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館できる時刻は午後4時30分までとする。

2 立山町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

(平18条例18・追加)

(休館日)

第3条の3 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(平20条例17・全改、令3条例12・一部改正)

(事業)

第4条 資料館は、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) 郷土の歴史に関する図書、文献、模写、模造、写真、フィルム等の資料(以下「郷土資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること並びに郷土資料を利用させること。

(2) 郷土に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。

(3) 郷土資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書を作成し、及び頒布すること。

(4) 郷土資料に関する専門的な調査研究を行うこと。

(5) 町民の文化の発展に寄与し、美術工芸作品等の創作発表と普及の場を提供すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、町民の郷土に関する知識の普及及び教養の向上に資するため必要な事業

(職員)

第5条 資料館に館長、その他必要な職員を置くことができる。

(平18条例18・一部改正)

(入館料)

第6条 入館者は、別表第1に定める入館料を納めなければならない。

2 既に納めた入館料は還付しない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときはその全部又は一部を還付することができる。

(平18条例18・一部改正)

(使用の承認)

第7条 企画展示室を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならぬ。

2 前項の承認には、展示館の管理上必要な条件を付することができる。

(使用料)

第8条 企画展示室を使用しようとする者は、別表第2に定める額の使用料を納めなければならない。

(入館料、使用料の減免)

第9条 教育委員会は特別の事由があると認めたときは、入館料、使用料の全部又は一部を減免することができる。

(損害の賠償)

第10条 入館者が、施設整備、展示品等を損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。

(管理の代行等)

第11条 教育委員会は、管理運営上必要があると認めるときは、指定管理者(立山町公の施設に係る指定管理者の指定の手続当等に関する条例(平成16年立山町条例第1号)第12条の規定により読み替えて適用される第7条第2項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせることができる。

2 前項の規定により指定管理者を指定した場合の当該指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 施設の維持及び管理
- (2) 入館及び利用の許可等に関する業務
- (3) 入館料及び利用料の収受に関する業務
- (4) 上記業務に付随する業務

3 第1項の規定により指定管理者を指定した場合の利用料は、指定管理者が第8条に規定する使用料の範囲内においてあらかじめ町長の承認を得て定めるものとし、当該指定管理者の収入とする。

4 第3条の2第2項中「立山町教育委員会(以下「教育委員会」という。)」を「指定管理者」に第3条の3中「教育委員会」を「指定管理者」に、第6条第2項中「教育委員会」を「指定管理者」に、第7条中「使用」を「利用」に、「教育委員会」を「指定管理者」に、第8条中「使用」を「利用」に、第9条中「教育委員会」を「指定管理者」に、「使用」を「利用」に、別表第2中「使用」を「利用」に読み替え適用するものとする。

(平18条例18・追加)

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は規則で定める。

(平18条例18・旧第11条繰下・一部改正)

附 則

この条例は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成15年条例第15号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成18年条例第18号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年条例第17号)

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(令和3年条例第12号)

この条例は、令和3年4月1日から施行する。

別表第1(第6条関係)

入館料

区分	一般(高校生以上)	団体(20人以上)
常設展示	無料	
特別企画展	200円	150円

別表第2(第8条関係)

(平15条例15・一部改正)

企画展示室使用料 1日 500円

○立山町郷土資料館条例施行規則

平成7年3月28日

教委規則第1号

改正 平成11年3月31日教委規則第10号

平成16年3月29日教委規則第1号

平成18年3月28日教委規則第1号

立山町郷土資料館設置条例施行規則を次のように定め、公布する。

立山町郷土資料館条例施行規則

(平18教委規則1・改称)

(趣旨)

第1条 この規則は、立山町郷土資料館条例(以下、「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(平18教委規則1・一部改正)

(使用の承認)

第2条 条例第7条の規定により、企画展示室の使用の承認を受けようとする者は使用日前7日までに資料館企画展示室使用承認申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

(平18教委規則1・旧第4条繰上)

(入館料、使用料の減免)

第3条 条例第9条の規定により、入館料の減免を受けようとする者は資料館入館料減免申請書(様式第2号)を、又使用料の減免を受けようとする者は資料館企画展示室使用料減免申請書(様式第3号)を教育委員会に提出しなければならない。

(平18教委規則1・旧第5条繰上・一部改正)

(入館の拒否及び制限)

第4条 教育委員会は、次の各号に該当する者は入館を禁じ又は退館を命ずることができる。

- (1) 他の入館者に迷惑となる行為をするおそれがあるとき。
- (2) 展示品又は施設設備を損傷するおそれのあると認められる者
- (3) その他管理上必要な指示に従わない者

(平18教委規則1・旧第6条繰上)

(指定管理者が使用許可を行う場合の取扱い)

第5条 条例第11条第1項の規定により指定されたものに管理等を行わせる場合においては、この規則中「使用」とあるのは「利用」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、読み替えるほか、次の表の左欄に掲げる同規則の規定中の字句で同表の中欄に掲げるものは、それぞれ同表の右欄の字句と読み替えるものとする。

第2条	(様式第1号)	(指定管理者の定める様式)
第3条	(様式第2号) (様式第3号)	(指定管理者の定める様式)

(平18教委規則1・追加)

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、資料館の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(平18教委規則1・旧第7条繰上・一部改正)

附 則

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成11年教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第1号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第1号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

様式第1号(第4条関係)	
立山町郷土資料館企画展示室使用承認申請書	
年　月　日	
立山町教育委員会 様	
申請者 住 所	申請者 住 所
氏 名	氏 名
電 話	電 話
次のことより企画展示室を使用したいので申請します。	
日　的	
日　時	年　月　日　～　年　月　日
使　用　品	
備　考	

様式第2号(第5条関係)	
立山町郷土資料館入館料减免申請書	
年　月　日	
立山町教育委員会 様	
申請者 住 所	申請者 住 所
氏 名	氏 名
電 話	電 話
下記により入館料を减免下さるよう申請します。	
日　的	
日　時	年　月　日　～　年　月　日
使　用　料	
※　減　免　類	
減免を必要とする理由	
※印欄は記入しないで下さい。	

様式第3号(第5条関係)	
立山町郷土資料館企画展示室使用料减免申請書	
年　月　日	
立山町教育委員会 様	
申請者 住 所	申請者 住 所
氏 名	氏 名
電 話	電 話
下記により使用料を减免下さるよう申請します。	
日　的	
日　時	年　月　日　～　年　月　日
使　用　料	
※　減　免　類	
減免を必要とする理由	
※印欄は記入しないで下さい。	

様式第1号(第4条関係)

様式第2号(第5条関係)

様式第3号(第5条関係)

5 参考資料

(1) 国・県指定文化財（立山町域）

番号	名 称	種 別	所 在 地	指定年月日	管 理 者
28	芦 岐 仲 宮 寺 遺 跡	史 跡	芦岐寺堂後割57	昭39. 6. 11	区 長
29	松 倉 経 塚 遺 跡	史 跡	松倉経塚1	昭39. 6. 11	個 人
30	日 中 経 塚 遺 跡	史 跡	日中松原33	昭39. 6. 11	区 長
31	ニ ツ 塚 原 始 住 居 遺 跡	史 跡	ニツ塚西中の島183	昭39. 6. 11	区 長
32	古 屋 敷 繩 文 遺 跡	史 跡	芦岐寺古屋敷割100	昭39. 6. 11	区 長
33	天 林 A 地 区 繩 文 遺 跡	史 跡	天林新宮社28	昭39. 6. 11	区 長
34	天 林 B 地 区 繩 文 遺 跡	史 跡	天林250	昭39. 6. 11	区 長
35	藤 塚	史 跡	日中魚梁場28	昭39. 6. 11	区 長
36	陶 片 塚 ほ か	史 跡	下瀬戸(陶)山林2-1外	昭47. 10. 16	立 山 町 外
37	大やぶ塚(一字一石経塚)	史 跡	浦田字高木11	昭50. 6. 30	個 人
38	日 中 城 跡	史 跡	日中墓の段	昭50. 6. 30	区 長
39	上 末 古 窯 跡 群	史 跡	上末釜谷及び法光寺谷	平7. 10. 26	区 長
40	池 田 城 跡	史 跡	池田字大谷37外	平7. 10. 26	区 長
41	芦 岐 雄 山 神 社 仲 宮 社 叢	天然記念物	芦岐寺池の尻2	昭39. 6. 11	芦岐雄山神社
42	水 バ シ ョ ウ	天然記念物	長倉小池3	昭42. 12. 16	区 長
43	下 田 の 大 杉	天然記念物	下田1	昭51. 12. 1	区 長
44	伊 勢 屋 の 大 杉	天然記念物	伊勢屋24	昭51. 12. 1	区 長
45	柄 津 新 宮 社 社 叢	天然記念物	柄津1	昭57. 11. 27	区 長
46	立 泉 神 社 の 大 杉	天然記念物	立泉寺1786	昭62. 11. 30	区 長
47	雄 山 神 社 前 立 社 壇 境 内 林	天然記念物	岩崎寺1	昭62. 11. 30	岩崎雄山神社
48	立 山 ま り も 生 息 地	天然記念物	野口108	平9. 4. 24	個 人
49	西 大 森 の 大 石	天然記念物	西大森地内	平19. 4. 24	国 土 交 通 省
50	千 垣 白 山 社 の イ チ ョ ウ	天然記念物	千垣字高地366 白山社境内	平29. 3. 10	区 長

◎ 立山町の獅子舞一覧

- ・五百石下町の獅子
- ・五百石上町の獅子
- ・金剛新の獅子
- ・上金剛寺の獅子
- ・東大森の獅子
- ・八ツ屋の獅子
- ・三ツ塚の獅子
- ・白岩の獅子
- ・沢中山の獅子
- ・宮路の獅子
- ・横江の獅子
- ・泉の獅子
- ・浦田の獅子
- ・若宮の獅子

日なた歴史通信

Vol.6

2023.6

立山町歴史交流ステーション日なた
〒930-3213 立山町日中上野 83
☎076-462-2387
✉tateyama-hinata@ma.net3-tv.net



開催中

ミニ企画展 飛騨の越中瀬戸焼伝承 —神岡・山之村窯—

6月3日(土)よりミニ企画展「飛騨の越中瀬戸焼伝承—神岡・山之村窯—」を開催しています。

飛騨市神岡村瀬戸は、かつて山之村地区と呼ばれた、標高1000m付近の隠れ里です。

ここには、瀬戸系陶窯とされる単独窯跡があり、「山之村窯」と呼ばれています。窯を操業した陶工は、越中瀬戸で修業したとの伝承があります。

会期:2023年
6月3日(土)～
7月31日(月)
【休館日:7月17日(祝)】



イベント「学芸員による解説会」

10:30～ 14:00～

6月3日(土) 6月4日(日)

6月22日(木) 7月1日(土)

7月2日(日) 7月16日(日)

7月29日(土) 7月30日(日)

この展示では、伝世品や窯跡で採取した陶器片・窯道具から、「山之村窯」の実像に迫ります。

会期中、学芸員による解説会が数回開かれます。ご興味がある方はぜひご参加ください。

夏休みイベント

ねんどで土偶や土版を作ろう

縄文ものづくり体験を、8月5日(土)と8月20(日)の

10:00～11:30に開催します。

料金 1人200円 (各回定員10名)

作った作品は当日持ち帰れます。

電話にてお申し込み下さい。☎076-462-2387



利田小学校3年生 団体鑑賞

1月19日(木)に利田小学校の3年生のお友達が民具見学と縄文体験に来られました。いろいろな民具について学びました。また、弓矢の的当て、縄文土器パズル、縄文土器模様付け、縄文土器ハンコなどの体験をして楽しいひとときを過ごしました。



体験メニュー増えました！



案内看板設置しました

157号線(スーパー農道)
沿いの曲がり角に案内看板を設置しました。



縄文土器作り体験 計画中

秋に、本物の縄文土器を見ながら土器づくりにチャレンジできる講座を計画中です！制作から野焼きまでを体験します。詳しい情報は、9月1日号の広報にてお知らせします。



現在、ボランティアの方と一緒に参考作品を試作中です。



日なた歴史通信

Vol.7

2023.10

立山町歴史交流ステーション日なた
〒930-3213 立山町日中上野 83
☎076-462-2387
✉tateyama-hinata@ma.net3-tv.net



夏休みイベント

縄文ものづくり体験

夏休みイベントとして縄文ものづくり体験「ねんどで土偶や土版を作ろう」を8月5日(土)と8月20日(日)に開催し、21名が参加しました。大人から子供まで思い思いの作品を製作し、楽しい時間を過ごしました。できた作品は、当日持ち帰り、乾燥させてお家で飾って頂きました。



ミニ企画展 飛驒の越中瀬戸焼伝承 開催しました

2023年6月3日～7月31日に開催した同展では、関連イベントとして、神岡山之村窯の所蔵者である平田金次郎氏らを招き、座談会を行いました。会期中に学芸員による説明会を12回開催し、計39名の参加があり、神岡からも見学者がありました。文化財保護審議委員会の委員によるミニ企画展の視察がありました。



座談会の様子



文化財保護審議委員会視察の様子

北部小学校6年生 団体鑑賞

立山北部小学校6年生29名のお友達が、町内で出土した土器や民具の見学に来られ、メモを取りながら説明に耳を傾けていました。

最後に、縄文体験を楽しみました。(7月27日)



適応指導教室 勾玉体験

立山町適応指導教室のお友達が勾玉作り体験に来られました。(7月4日)



成果作品 →
すてきな勾玉
ができました。

蚕の飼育に挑戦中

今年は蚕の繭作りを行いました。当館に植えられていた桑の葉をたくさん食べて大きく成長し、立派な繭を作ってくれました。



文山純子氏から7月11日に姿を消したソーメン滝最後の貴重な写真を頂きました。展示室にて展示を行っておりますので、是非ご覧ください。



↑ 消える前の
ソーメン滝の姿

貴重な資料が立山町に寄贈されました。

- 谷口謙山作品 2点 個人(魚津市)
- 古文書裏張り 裸, 売薬資料, 民具等 多数 個人(富山市)
- 天秤ばかり, 分銅 14点 個人(立山町)

古い資料を寄贈して下さい

当館では、使われなくなった古い生活用具や古文書・古写真などを収集中です。寄贈して頂ける方は当館までお電話下さい。

☎ 076-462-2387

日なた歴史通信

Vol.8

2023.12

立山町歴史交流ステーション日なた
〒930-3213 立山町日中上野 83
☎076-462-2387
✉tateyama-hinata@manet3-tv.net



開催中

ミニ企画展2

「越中瀬戸焼研究者 長島勝正」展

陶芸家釋永由紀夫氏から今回寄贈を受けた「長島勝正氏自筆原稿」を公開しています。

昭和 15 年の越中瀬戸窯発掘に参加し、遺物を整理した古美術研究家長島勝正氏の当時の研究原稿を展示し、その業績を紹介します。

期間中には、学芸員による解説会も開催します。ご興味がある方はぜひご参加ください。

イベント

「学芸員による解説会」

10:30～ 14:00～

2月24日(土) 3月10日(日)

3月16日(土) 4月21日(日)

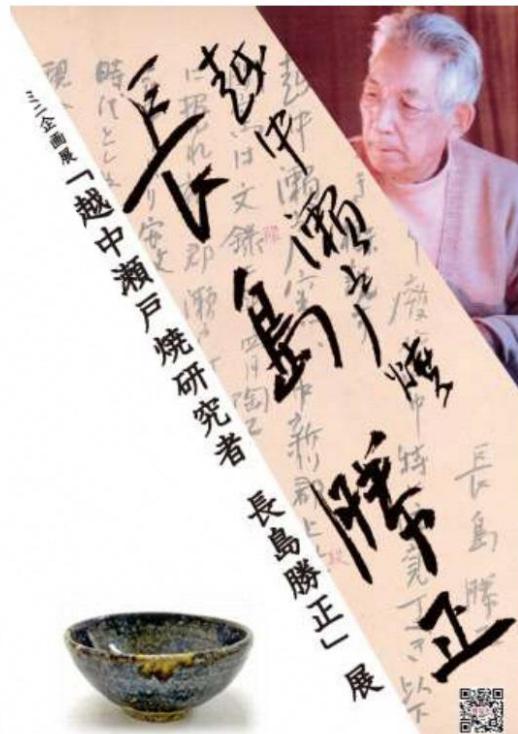
会期:～2024年4月21日(日)まで

【休館日:12/29～1/3・1/8(祝)・2/11(祝)・2/12(振替・月)・2/23(祝)・3/20(祝)】



展示の様子⇒

12月9日(土)・10日(日)の解説会にはたくさんの方に来ていただきました。今後の解説会にもぜひお越しください。

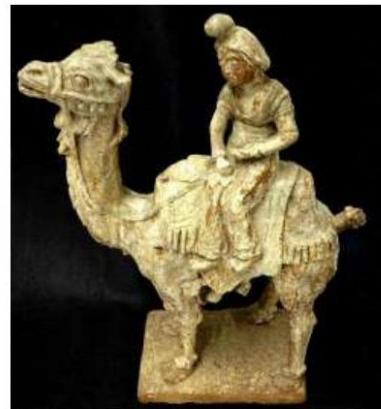


騎駝人物

今回のミニ企画展で取り上げた長島勝正氏が越中瀬戸焼の粘土と窯を使用して作った作品とみられます（展示中）。

もともとは彫刻を専攻した長島氏ですが、作陶に没頭し、窯元に住み込んで製作にあたっていたとのことです。

「昭和廿二年 勝正」の刻銘があります。他にも仏像や唐美人人形などを作陶されました。



文山純子写真展開催中 三禅定の霊山が揃い踏み

文山純子さん撮影の写真を提供していただき、展示しています。

紅葉の立山、冠雪した白山、赤黒い雲の下の富士山を撮影した見事な写真です。

立山、白山、富士山（三禅定）は三霊山として、古くは修験者たちの修業の場、江戸時代以降は民衆の信仰登山の対象となっていました。



『日本の民話』・ 『世界の民話』 が寄贈されました

匿名の方から図書の寄贈がありました。各地の民話や風俗、祭り、民具などがわかりやすく紹介されています。

どうぞご覧ください。



古い資料を 寄贈して下さい

当館では、使われなくなった古い生活用具や古文書・古写真などを収集中です。寄贈して頂ける方は当館までお電話下さい。

☎ 076-462-2387

令和4年度　日なた　ミニ企画展　【成果】

展示名　「生活の中で活躍する綿」

期間　　令和4年11月1日(火)～12月28日(水)まで

開催日数　56日

入館者数　131人

関連企画　6月5日(日)　綿花の種植え体験　23名参加

12月3日(土)　ワークショップ「綿花を紡いでみよう！」　18名参加

立山町日中上野の住民によれば、昔は糸車をつかって糸を紡いだり、繭の周りの糸を取り除くのに使っていた。昭和期の日中上野地区では養蚕を行う農家が多く、納屋の2階などで養蚕を行い、できた繭は小学校に持つて買い取り業者に販売していた。また、畑では自分の家で使う綿花を育てており、できた綿を使って綿入れや座布団を作っていたという。展示では、木綿の歴史を明らかにするとともに、現在の綿花についても触れた。

6月5日には展示前企画として、日中上野公民館さつまいも苗植え体験に合わせ、綿花の種植えを公民館裏の畑で行った。町内の親子連れ23名が参加し、簡単な綿花の説明と植え方の留意点などの指導を行った。

本展示は、11月1日から12月28日の期間で開催した。「綿の主な種類や産地の紹介」「日本の綿の歴史」「綿花の栽培方法」「和綿と洋綿の生育違いをイラストと写真で紹介」「現在立山町で綿花を栽培している方々のインタビュー」「綿花を糸にするまでの工程」をパネル展示。展示台には、「葉・花・萼・果皮の違い」「種の大きさや色の違い」「綿花の大きさや色の違い」「種類によっての繊維の長さの違い」「糸を紡ぐための道具」「自然の素材で染色された手織りの糸や手織り布巾」の実物展示を行った。また、展示を見ながら答えを探すワークシートを制作し、参加した方にはコットンボールをプレゼントした。

12月3日には、ワークショップ「綿花を紡いでみよう！」を開催。大人10名、子供5名、見学3名が参加した。展示説明の後に、さねくりで綿と種を分け、弓で綿打ちし、じんぎを作り、スピンドルを使って糸を紡ぐ工程を一通り体験した。糸を紡ぐ工程は、コツを掴むまでが難しかったようで参加者は苦戦していたが、とても貴重な体験ができたとの声が多かった。

展示期間中、綿花の栽培や糸作りに興味がある方が多く来館し、民具の使い方や糸ができるまでの工程を実際に体験することは、昔の手仕事の大変さを学べると好評であった。



綿の種植え体験



会場風景



会場風景



会場風景



体験用 制作民具



ワークショップ「綿花を紡いでみよう！」

令和5年度　日なた　ミニ企画展　【成果】

展示名 「飛驒の越中瀬戸伝承—神岡・山之村窯—」展

期間 令和5年6月3日～令和5年7月31日

開館日数 58日

入館者数 157人

展示解説会 12回 39人参加

関連企画「座談会」 令和5年7月6日

資料所蔵者 平田金次郎夫妻を囲み、文化財関係者・陶芸関係者が参集して山之村窯について座談会を行い、理解を深めた

今回展示による成果

越中瀬戸焼と関係があるとの伝承をもつ山之村窯について、これまで本格的な研究が行われず、越中瀬戸焼とどのような関連があるかが不明であった。

今回展示に伴い、現地調査なども行った結果、正確な窯の位置が判明するとともに、新たに陶器片や窯道具等多数の資料を得ることができた。

窯で焼かれた陶器は、灰釉・石灰釉を主体とし、鉄釉も少數ある。湯呑・碗・鉢・壺などのほか、染付を製作した。生活雑器が主体である。

窯道具も多数あり、伝統的な匣鉢詰めによる焼成方法を行っていたほか、楕円球状の他所にない窯道具の存在が確認された。

窯は、小規模な登窯であり、単室または少室の連房式登窯と推定される。

陶器は岐阜の美濃焼系統に似る。越中瀬戸焼の主体である鉄釉は少ない。平田家に残る越中瀬戸焼との関連伝承は、小規模窯の構築技術を学んだか。

越中瀬戸焼との明確な関連は特定できなかったが、今後の調査研究に期する。